

動労千葉72Hスト戦術決定!

動労千葉は第二回闘争委員会の確認にもとづき四月二十日、次のような内容の闘争指令第一号を発し、七九春闘に臨む基本的態度を明らかにするとともに、準備体制の確立について指令した。

1. 各支部は、四月二一日十時より新小岩支部で「七九春闘勝利動労千葉総決起集会」を開催するので、最大限動員で結集すること。
2. 各支部は、四月二一日一七時支部代表者会議を開催するので必ず参加すること。細部については別に指示する。
3. 各支部は、四月二五日零時以降、全線区で七十二時間ストライキ実施の準備体制を確立すること。
4. 各支部は、組織点検行動を強化して、真の労働組合の形成をめざす活動を全組合員の合言葉として、役員・活動家・組合員の一本化をはかること。
5. 各支部は、四月二三日以降、集中拠点交流オルグを実施するので、別に指示する動員体制を確立すること。

全支部一丸となって闘おう!

また、四月二一日十時より新小岩支部において一八〇名を結集し「七九春闘勝利動労千葉総決起集会」を開催し、同日、動労「本部」暴力集団の新小岩支部結成大会破壊のための襲撃から断固結成大会を守り抜いた後、千葉市内において第二回支部代表者会議を開催し具体的戦術について確認し、七十二時間ストの拠点について次のように確認した。新生動労千葉の大義と戦闘力を満天下に指し示し、全支部一丸となって闘い抜こう。

4月25日
Aグループ〇時より十二時
(勝浦、館山、木更津)

Bグループ〇時より二四時
(佐倉、銚子)

4月26日
Cグループ〇時より二四時
(津田沼、千葉運転区、
成田、蘇我、新小岩)

Dグループ〇時より二四時
(幕張)

4月27日
A・B・Cグループ〇時より二四時
Dグループ〇時より二四時

地方選挙を放棄し、七九春闘の主体性を放棄した動労中央・暴力集団!

暴力集団動労本部は、八十年代政治戦線の重要な基盤となる地方選挙を放棄し、連日千葉に対する組織破壊攻撃をかけ暴力行為をくりかえし、十七日の津田沼支部事件にみられるように国民大衆の労働組合への不信を拡大させ、春闘分断、政府資本の手先になりさがっている。とりわけ先の全国戦術委員長会議では春闘戦術の配置はすべて地方に一任して、国労との完全共闘を標榜し、拠点などは決定せず、動労の主体性を放棄している。この背景は千葉に対する組織破壊の行動の中で全国的に国労からの組織攻撃を避けようとする考えにもとづくものであることは明白である。われわれは国労との共闘体制の強化は誰よりものぞむものであるが、その基本原則は相互の主体性の尊重と理解が必要である。その原則が明確にならない限り共闘体制は必ず破たんすることを肝に銘ずるべきであろう。今日までの暴力集団動労本部のやり方では春闘総括をめぐって必ずそれを実証するであろうことは明らかである。

今こそ動労千葉の底力を示せ!

暴力集団動労本部の理不尽きわまる攻撃の中で各支部は真の労働組合の形成をめざして暴力集団と毅然と対決し、大会決定にもとづく団結署名は着実に前進し、四月十八日津田沼支部、四月十九日館山支部、四月二一日新小岩支部がそれぞれ結成大会を開き、新たな決意のもとに前進している。その他の支部も四月末までには新組織の体制を確立する準備を急ピッチで進めている。

以上の情勢の中で、われわれは七九春闘に突入する。いまこそ、総武線を握り、三里塚・ジェットの手を握っている動労千葉の底力を示そう。全支部・全組合員は総決起せよ!

79春闘勝利! 権利確立!

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!